

# 牛久：学校周辺に見る自然

第8号 稲敷市の宮内家から

2010年5月18日発行

## <金星と月の大接近>

5月16日、日曜日の夜、金星と月が数年に一度の大接近をしました。



大接近といっても、地球から見て接近して見えるということで、実際に月と金星が近付いたわけではないでしょう。同じ日、日本から少し離れた東南アジアでは、金星が月に隠される「金星食」になるのだそうです。あまり話題になってないように思いますが、どうだったのでしょうか？

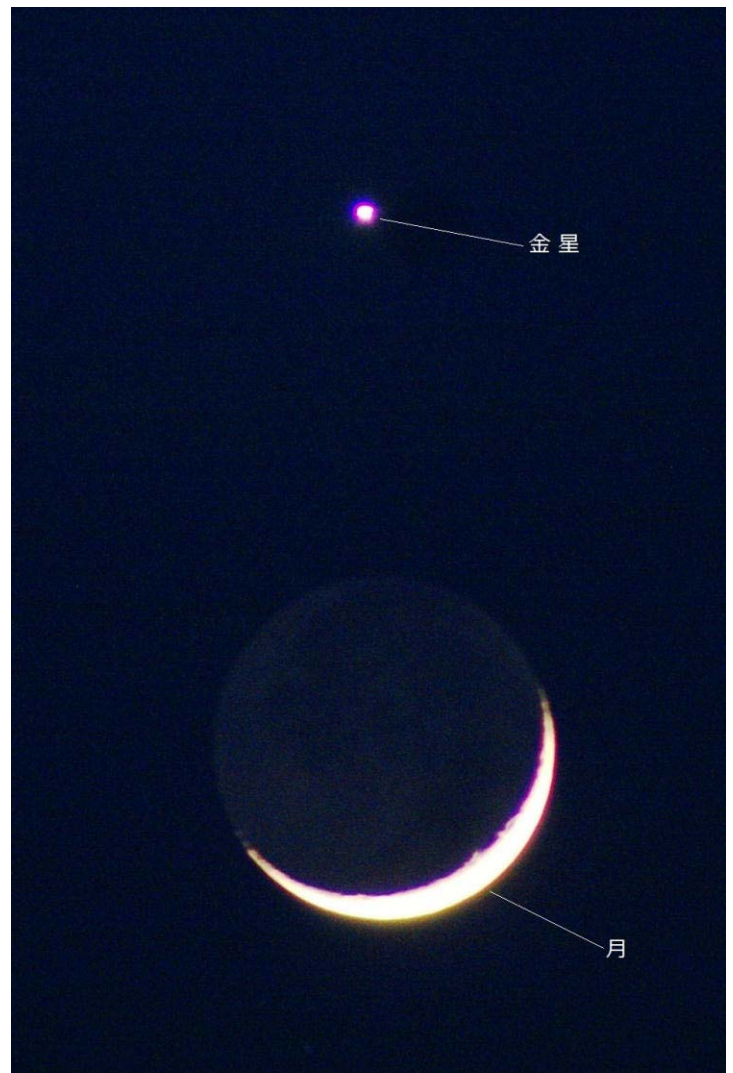
ちなみに日本で次に「金星食」が見られるのは、2012年8月14日だそうです。

記憶に新しいところでは、2008年の12月1日には、右目が金星、左目が木星、口元が三日月の、かわいい“ハッピースマイル”が夜空に描かれました。

どうしてこのようなことが起こるのかというと、地球の1年は365日ですが、金星の1年は225日、木星の1年は、なんと4380日だそうです。この公転周期の違いから、数年に一度、こんなかわいい光景が見られるのだといわれています。

1日たった17日には、もうずいぶんと離れてしまっていました。

だいぶ暖かい日も多くなってきました。たまには夜空を見上げて、星を探してみるのもいいかもしれません。ただし、大人の人と一緒にね。



【理科支援員：宮内】